



優秀演題論文集

当番世話人 **松崎 靖司** 東京医科大学茨城医療センター消化器内科

当番世話人代行 **工藤 正俊** 近畿大学消化器内科

開催日時：2019年1月26日(土)

会場：ベルサール九段（東京都千代田区）

「The Liver Cancer Journal」では、「日本肝がん分子標的治療研究会」の準機関誌といたしまして、年2回開催されます同研究会の優秀演題論文集を掲載して参ります。掲載演題につきましては、Session司会の先生方よりご推薦いただきました。

PROGRAM

Session
1-1

進行肝細胞癌に対するレンバチニブの初期使用経験

坂本 梓 大阪赤十字病院消化器内科

Session
1-2

進行肝細胞癌に対するレンバチニブ治療における腫瘍マーカーと画像評価の関連について

児玉 健一郎 広島大学消化器・代謝内科

Session
1-3

当科における切除不能肝細胞癌に対するレンバチニブ治療の初期経験

田中 健太郎 熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学

Session
1-4

進行肝細胞癌に対するレンバチニブの初期治療成績

小串 勝昭 横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター

Session
2-1

肝動注化学療法に不応の高度門脈腫瘍塞栓(Vp4)を伴う肝細胞癌に対してレンバチニブで腫瘍縮小を得た一例

河合 桐男 杏林大学医学部腫瘍内科

Session
2-2

切除不能進行肝細胞癌に対するLenvatinib初期治療成績(Sorafenib投与例との比較検討)

佐々木 龍 長崎大学病院消化器内科

Session
2-3

切除不能肝細胞癌に対するLenvatinib療法：甲状腺機能の検討

小泉 洋平 愛媛大学大学院医学系研究科消化器・内分泌・代謝内科学

※ Session 2-3の論文掲載はございません。

Session
3-1

切除不能進行肝癌に対する分子標的治療薬の有害事象プロファイル—Sorafenib, Regorafenib, Lenvatinibの比較—

友成 哲 徳島大学病院消化器内科

Session
3-2

TACE後の肝予備能悪化リスク予測に基づいた分子標的治療の至適導入時期の検討

恵荘 裕嗣 京都大学医学部消化器内科

Session
3-3

肝細胞癌に対するLenvatinib抗腫瘍効果の検討—*in vitro*の検討—

中原 麻衣 香川大学医学部消化器・神経内科学

Session
3-4

MRI拡散強調画像から見た肝内胆管癌の腫瘍悪性度に関する検討

山田 眞一郎 徳島大学大学院医歯薬学研究部消化器・移植外科学

Session
4-1

門脈大循環シャント合併進行肝癌に対してレンバチニブ投与後シャント型肝性脳症を発症し、シャント塞栓術により脳症再燃なく投与継続可能となった1例

難波 麻衣子 広島大学病院消化器・代謝内科

Session
4-2

Sorafenib投与開始直後は進行(PD)であったが、気管支動脈からの複数回IVR後のSorafenib長期投与にて著明な抗腫瘍効果を認めたアルコール性肝硬変多発肺転移肝細胞癌の1例

小島 雄一 済生会新潟病院消化器内科

Session
4-3

レンバチニブ投与早期に広範囲な腫瘍壊死と腫瘍破裂を認めた1例

佐々木 恭 川崎医科大学肝胆膵内科学